

2年次後期・必修

1単位・15時間

【概要・目標】

成人期にある人々の多くは企業等で働いている。この時期の保健活動には労働と職場に密着した活動が重要である。産業保健の分野では、職場における保健活動を進める体制を理解し、事業者や労働者と協力して健康障害への対策を展開できる基礎知識を習得する。さらに、産業保健分野の専門職としての技能を有する衛生管理者として労働者の健康管理に必要な知識や技術を広く習得する。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 産業保健総論
- 2) 産業保健組織
- 3) 労働衛生管理業務の概要 (その1、健康管理)
- 4) 労働衛生管理業務の概要 (その2、作業環境管理)
- 5) 労働衛生管理業務の概要 (その3、作業管理)
- 6) 労働法規と労働衛生行政
- 7) 産業保健指導論
- 8) まとめ

【評価】

授業は講義形式を主とするが、発表などの演習も取り入れる。
評価方法は、試験 (80%)、レポート (20%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (20%)、参加態度 (20%)、その他 (0%)

【教科書】

池田智子編 「産業看護学」講談社 2016

【推薦参考図書】

中央労働災害防止協会 編「衛生管理(上)-第1種用-」中央労働災害防止協会 2015
日本産業衛生学会近畿地方会 編「産業医学実践講座 改訂第2版」南江堂 2006
法研 編「職域における保健と医療実践ハンドブック」法研 2007
中央労働災害防止協会 編「労働衛生のしおり 平成28年度」中央労働災害防止協会2016
河野啓子著 「産業看護学」日本看護協会出版会

【その他】